

## 2023 年度 群馬パース大学 看護実践教育センター 自己点検・評価

【課程名】看護実践教育センター 特定行為研修課程（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）

評価項目	自己点検・評価
教育課程	<p>特定行為研修は、厚生労働省が定める内容及び方法により構成される。本教育課程においてもこれを遵守の上、本学建学の精神である「Paz（平和）平和で公正な社会の発展、Pessoa（個性）個人の尊厳と自己実現、Assistencia（互助）多様な人々の共存と協調、Zero（熱意）知の創造、への貢献」を達成すべく、研修期間 2023 年 4 月から 12 月の 9 か月間、共通科目 259 時間、区分別科目 22 時間（うち、4 月から 8 月は e-learning）、加えて臨地実習計 10 症例の教育計画を設計し、計画通り実施した。</p> <p>教育課程の質を担保するため、登校による講義後には受講生へ授業評価アンケートの記載を依頼し、そこから得られた意見や要望、質問項目を吸い上げ、それ以降の講義に迅速にフィードバックできるシステムを構築しており、2023 年度においてもこのシステムを通じて必要な改善を行った。</p> <p>臨地実習は症例数の確保のため、実習期間を 6 週間強の長期間確保するなど配慮するとともに、自施設実習が困難な受講生に対しても万全の実習環境が提供できるよう、十分な数の協力施設を確保している。また臨地実習後は学内に戻り、経験した事例を用いて事例発表会を行うことで知識技術の定着を図っている。</p> <p>これらのことから、教育課程は適切に計画、実施されたものと評価できる。</p>
教育成果	<p>2023 年度受講者 2 名のうち 2 名が修了した。</p> <p>当該年度の全学事日程を終えた修了予定の受講生 2 名にアンケートを実施したところ、下記の結果が得られた。</p> <p>【実習オリエンテーションの内容、量、実施期間について】</p> <p>評価：満足。</p> <p>評価の理由：「わかりやすかった。ZOOM でやって頂いたためオリエンテーション後すぐ看護部に相談に行けたので良かった」「同意書の取り扱いなどの注意事項や、次週評価表などの細やかな説明など、確認したことの説明があり、わかりやすい内容であった」</p> <p>【臨地実習の方法、内容、環境、期間の設定について】</p> <p>評価：満足～やや不満。</p> <p>評価の理由：「自分の病院で行えたことで、実際に使用している輸液や経管栄養、食事内容など検討でき今後活かしていける点はかなり良かった。ただ特定行為に対する自施設の認識が低く、指導医の理解を得るのは難しかった。」「自施設で実習ができ、今後の活動に繋げることができている。自施設に実習費を設けてもらい、実習に専念することができた」</p> <p>【臨地実習記録について、記録の内容（難易度）、記録の量、提出までの流れ】</p> <p>評価：満足～普通。</p> <p>評価の理由：「実習を終えた後、記録の提出までに時間があつたので振り返りを行って記録できたのでよかったです」「e ラーニングや演習講義に沿って、記録をまとめた。また実習前オリエンテーションの説明もわかりやす</p>

評価項目	自己点検・評価
	<p>く、提出するまでの流れも円滑に実施することができた」</p> <p>【特定行為臨地実習をより実りあるものにするために、事前にどういった授業や自己学習、準備などを行うと良いと思いますか】</p> <p>自由記載：「Excel や PowerPoint の簡単な機能の自己学習」「特定行為シンポジウムやフォーラムの開催予定の調べ方やサイト等の情報共有」「学習を進めていく中で、研修を終えてから自分の病院で何をすべきか出来ることを考え、研修を行っている目的を見失わない事が大切だと思った」</p> <p>本教育課程は自施設での臨地実習を推奨しているため、アンケート結果では各施設的环境により臨地実習中の満足度は異なっているが、受講生が自施設において特定行為を、より実践的に活用しようとする意識の向上に繋がり、特定行為実践が本来もつ医師の行為の一部を、特定行為として看護師にタスクシェア・タスクシフトすることに貢献できたと考えられる。</p> <p>これらのことから、教育成果は概ね良好であると評価できる。</p>
受講生支援	<p>本教育課程では、全登校日において教育課程教員によるオフィスアワーを設けており、放課後にも講義室を開放し、受講生が時間を取って教員に相談が出来る体制を整えている。加えて、各講義のシラバスに指定教科書や参考図書を明記することで、受講生による自主的な学修を促している。また、登校日以外の学習支援として、eラーニング履修の計画的進捗度を毎週確認し、メールやeラーニングシステムを活用した質問の受付、遠隔会議システムを用いた個別指導などを行っている。さらに、臨地実習では臨地実習の到達度を確認し、必要であれば学内にて学生にフィードバックし研修修了後の自己課題を確認している。</p> <p>これらのことから、本教育課程の受講生支援は適切に実施されているものと評価できる。</p>
施設設備	<p>本教育課程は、新幹線停車駅である高崎駅の隣駅から徒歩10分で通学でき、主要幹線道路にも至近の利便性が高い立地にある。本教育課程のフロアは学生が専用で使用できるスペースとなっており、講義室、演習室、シミュレーション教育が可能な各種模型などの教材、休憩用のテラスなどを備えている。徒歩3分に隣接する本学図書館、本屋等があり、大学生と同様の条件で利用できるなど、受講生の学修をサポートする体制が整っている。</p> <p>修了時アンケートでは施設設備に特化した質問項目を準備していなかったが、自由記載欄には本教育課程の施設設備に満足を示す記述が複数確認された。</p> <p>これらのことから、施設設備は概ね整っていると評価できる。今後は施設設備の充実に努めるとともに、受講生からのフィードバックを得られるよう、アンケート項目についても考慮していきたい。</p>

評価項目	自己点検・評価
<p>広報活動と 受講生確保の状況</p>	<p>本課程のリーフレットを制作し、全国の医療機関、関東近県訪問看護ステーション、関東近県老人保健施設、北海道・東北・関東甲信越の看護協会に送付している（約 1780 施設）。また、臨地実習施設や修了生の勤務先およびその周辺地域の病院等を訪問して受講者募集を行っている。また当センターが開講している認定看護師教育課程のA課程（特定行為研修を含まない）卒業生が受講しやすいように情報提供を行っている。2023年度は特に、2024年度より開講区分が追加となった「動脈血液ガス分析関連」、「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」について、群馬県内を中心に広報活動を強化した。ホームページは、教育課程の概要、受講者選抜試験等の情報を整理し、閲覧しやすい環境を整備して公開している。</p> <p>2024年度は受講生5名で定員を満たした。引き続き、多くの方に特定行為研修を知って頂くことができるようにリーフレットやチラシの作成と、ホームページの更新に努めるとともに、リーフレット等の送付先や直接の訪問先を見直し、受講生確保を図る予定である。</p>